本日の行事予定（2009 年 11 月 6 日）
第 2761 回例会
≪ロータリー財団月間≫
卓話担当：伊藤彰浩ロータリー財団委員長
講　　師：R財団地区年次寄付委員会委員
山田謹一君（あま RC）
R財団補助金委員会委員
加藤憲治君（あまＲＣ）

先回の記録（例会）

第 2760 回　'09 年 10 月 30 日（金）晴れ

ストレッチ体操	加藤則之君		
ロータリーソング	「四つのテスト」		
ソングリーダー	山本達彦君		
会 員 総 数	71 名　10 月 2 日例会分訂正		
出席免除会員	18 名	**欠 席 会 員**	10 名
本日出席会員	58 名	**MAKEUP 会 員**	3 名
本日の出席率	81.69%	**訂 正 出 席 率**	94.29%

超 過 出 席　浅井賢次君、伊藤基君、三谷栄一君、安江正博君、小畑英雄君（職業奉仕委員会）

会長挨拶

清水裕行会長

今日は、本日は地区の中島実米山奨学委員会副委員長をお迎えしました。中島実さんは、いまをときめく中駒産業の社長であります。新聞紙上、テレビ、ラジオでがんばってみえます。私とは 30 年ぐらいの付き合いです。2～3 年前に顔面神経通で難儀をしてみえましたが、現在は治られたようです。本日は卓話をお願いしたところ、快くお受けいただき有難うございます。

先週は、中国の広州で年 1 回行われる広州交易会に行ってきました。浅井副会長、伊藤幹事、その他多くの方にご迷惑をお掛けしました。有難うございます。メンバーの中にも多くの方が中国と取引されていると思います。交易会の会場は吹上ホールの 20 倍ぐらいあるかと思います。そのほか、8 階建てのビル 3 棟でも別の団体が行っていました。1 日だいたい 1 万歩から 1 万 5 千歩きました。ロットが大きく、なかなか買い付けができないかなと思いました。価格は非常に安いです。それでもコンテナー1 個分を買い付けてきました。

ただ全体を見ておりますと、大企業は参加していないような気がします。ユニクロ、イオン、大創産業、その他の大企業は自分の専用の下請け企業を持っていて、買い付けには参加していないような気がしました。

アフリカ、南米からのバイヤーも非常に多く見受けられた。ただマナーが悪いですね、最近日本でもマナーの悪い人も多くなりつつあり、自分勝手な人も多くなりました。若い時に遊んでいて、66 歳になってから仕事を一生懸命することは大変ですが、一花咲かせたいと思っています。本日は時間がないのでこれで終わります。続きはまたお話をします。

幹事報告

伊藤基幹事

1. 本日例会終了後、この会場にて国際奉仕委員会が行われます。
2. (財)ロータリー米山記念奨学会より感謝状が届きました。功労者は清水裕行会長、佐竹敦君、鈴木吉男君、加藤則之君、日比一昭君、相羽あつ子君、八谷潤一君、横井知代君の 8 名です。後ほど地区米山奨学委員会の中島実副委員長様より感謝状を贈呈していただきます。
3. 三菱東京ＵＦＪ銀行津島支社の木村雄一さんから入会の申し込みがありました。万が一異議のある方は、本日より 7 日以内に事務局まで文書でご提出ください。

4. 11 月 1 日、「彩雲館まつり」が行われます。清水会長に出席いただきます。
5. 11 月 5 日、一宮ＲＣの「60 周年記念式典」が行われます。これも清水会長に出席いただきます。
6. 11 月のロータリーレートは 1 ドル 90 円です。
7. 本日『ロータリーの友』11 月号、『絵ごよみ』をお配りしました。

ニコボックス報告　第 2760 回分

野々山勝也ニコボックス委員

中島実君（名古屋北ＲＣ）（お車代をそのままいただきました）

清水裕行会長、浅井彦治副会長、伊藤基幹事　皆さんインフルエンザに気を付けて下さい。

清水裕行君　①中島実米山奨学委員会副委員長をお迎えして。②先回欠席をして、浅井副会長、伊藤基幹事、その他たいへん多くの方にご迷惑をお掛けしました。中国から無事に帰りました。

相羽あつ子君　①卓話を担当します。②中島さんをお迎えして。

加藤隆朗君、日比一昭君　中島さんをお迎えして。

浅井賢次君　①堀田さんに大変お世話になり有難うございました。②ウィークリーに写真が載りました。

浅井彦治君　①堀田さんに大変お世話になりました。②11/1「つし丸フェスタ」が津島商店街で行なわれます。お暇な人はお出かけ下さい。

服部昭三君　11/1 から 3 日間「秋季さつき展・山野草　水墨画＆年賀展」が開催されます。年賀展は全国初めての開催です。ご高覧下さい。

宅見康悦君　職場例会の写真が載りまして、ありがとうございます。

安達勝夫君　松崎先生にお世話になりました。

児玉昭君　松崎先生にお世話になりました。

伊藤哲朗君　山田清三さんにお世話になりました。

山本達彦君　野々山君にお世話になります。

山田勝弘君　長男が元気に無事生まれました。ただし孫です。

野々山勝也君、服部貴君　Weekly に写真が載りました。

中野義光君、佐藤栄一君、稲垣宏高君、滝川林一君　その他。

鈴木吉男君　100 円拾った。

卓　話

≪米山月間≫

卓話担当：相羽あつ子米山奨学委員長
講　　師：地区米山奨学委員会副委員長
中島　実氏（名古屋北ＲＣ）

戦後、日本中が焦土と化してから復興もようやくという頃に、日本ロータリーの先達は、奨学事業の構想を打ちたて、そのわずか 2 年後にはタイより第 1 号の奨学生に支援を始めています。自分たちの生活もまだまだの時代に、“平和の心”を育む国際奉仕事業を立ち上げてこられました。現在は、景気が低迷し底打ちといわれていますが、それでもおいしい食事を食べ、旅行も出来、当時ほどではないように思います。そんな戦後の時代に生きたロータリアンの大きな心と視野の広い世界観には、尊敬の念とがんばる勇気をいただきます。

本日は地区米山奨学委員会副委員長の中島実さんにご来場いただきました。テレビでは大村昆でおなじみの中駒産業の代表取締役をされており、米山奨学委員会を 5 年も務めてみえる大ベテランです。本日の卓話も米山奨学委員会副委員長という重責にあり、多忙を極めている中を快く承知していただきました。

国際ロータリー第 2760 地区
米山奨学副委員長　中島　実氏

ロータリーの行事の中には、国際親善と世界平和を目的とする様々な国際教育支援プログラムがあります。米山奨学事業は日本で学ぶ海外からの留学生を支援するものです。将来、母国と日本の架け橋として貢献することが期待できる特に優秀な留学生の支援に力を注いでいます。ロータリーの誇りとするこの米山奨学事業の拡大・発展のため、皆様の「心あたたかい愛の浄財」を少しでも多く「御喜捨」願い、一人でも多くの奨学生をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

米山奨学の発祥について簡単に紹介します。戦線の拡大に伴い様々な誤解や圧迫のため、1940 年解散を余儀なくされていた日本のＲＣは、日本のロータリーの創始者米山梅吉翁が亡くなって 3 年後の 1949 年、念願の国際ロータリーへ復帰が叶い、オールドロータリアンにとって平和への深い感動と、奉仕活動に参画できるという喜びを痛感させるものでした。そして、米山翁の偉業を記念し、後世に残る有益な事業を起こそうではないかということで「向学心に燃える、若者の学費援助をロ

ータリアンの浄財によって賄うロータリー財団の国際奨学制度」が誕生した訳です。

「米山奨学制度はすごいですね」といろんなところからよく耳にします。何がすごいか……と言いますと、民間最大の支援規模にありますが、最もすごいのは、その財源が 10 万人ものロータリアン個人の寄付から成り立っていることです。一人ひとりの善意からの寄付金で、毎年 15 億円近くも集められる奨学財団は他にはありません。そしてロータリアン自らの世話クラブやカウンセラー制度を通して、奨学生のすぐ近くに寄付者がいて互いに交流を図り、寄付者が物心両面をサポートする…。その奨学制度がとてもすばらしく、この事業がすごい存在だといわれる所以です。1 万 4 千人を超える米山学友が、こうした温かな支援を心に刻み世界中で大活躍をされています。

また、米山奨学事業の寄付行為は、全額税控除が認められています。国や政府を巻き込んだオフィシャルに認められたすばらしい国際的な事業であり、ロータリアンの皆様から寄付していただく貴重な浄財は、すべて全額米山奨学事業のためだけに使われて、事業運営費等は別途積立資金の運用益から賄われている、まさに世界に誇れる事業であります。「豆事典」の表紙のハート型の地球を両手で支えているロゴマークは、“心を育てる国際奉仕のロータリアンと米山奨学生”を描いており、一人ひとりが持っている文化と交流の心を世界に広げ、平和な社会を創りたい、そんな願いをこめて作られたそうです。

世話クラブ全体で受け入れるムードづくりがうまくいくように、2006 年度からカウンセラー補助費は廃止され、クラブ全体で奨学生を受け入れていただくため、世話クラブ補助費として奨学生一人当たり 4 万円が支給されるようになりました。奨学生には 8 角形の中に桜の花びらが 8 枚あしらわれたバッジが送られます。そのデザインの由来は、日本の心とも言われるソメイヨシノの桜をモチーフにし、これから学識や技術を学んで花咲かんとする奨学生の皆さんを表し、集まって満開となる桜の木のように友好の花を咲かせ、日本と世界を結ぶ大きな架け橋となることを願っています。

ビデオでは前半は奨学生の活動について、後半は奨学生を卒業して米山学友となり、日本と世界の友好の架け橋として世界中で活躍している方々を紹介いたしました。こうした小さな草の根運動が皆様の心を動かし、ご寄付も多額にご協力いただいております。特に当 2760 地区内では個人寄付として 1 億円を寄付された名東ＲＣの坂本さん（星崎電気）がおられ、お蔭様で当 2760 地区は昨年度日本一となりました。全国でも 2008～09 年度において 5000 万円以上の大口寄付をされたクラブは 30 クラブ（20 億 5 千万円）になりました。今後とも米山奨学生に対する皆様のあたたかい思いやりをよろしくお願いいたします。

米山奨学委員会相羽委員長と中島地区副委員長。

米山功労者感謝状授与

加藤隆朗米山奨学副委員長より、受賞される皆さんを紹介。津島クラブとしても 17 回目の感謝状をいただきました。左から鈴木吉男君、佐竹敦君、相羽あつ子君、加藤則之君、（中島実副委員長）、清水裕行君、日比一昭君（ﾏﾙﾁﾌﾟﾙ）、八谷潤一君。

速　報！

「ハイライトよねやま№116」に、津島ＲＣが世 2003～04 に世話クラブとなった尤銘煌君の活躍が掲載されました。

ハイライトよねやま 116

（10 月 13 日配信より抜粋）

前列真ん中が第 2800 地区米山学友会尤銘煌会長

◆第 2800 地区で学友会設立

― 全地区に学友会がそろう ―

第 2800 地区【山形県】で 8 月 22 日、米山学友会設立総会が開催され、佐藤豊彦ガバナーをはじめとするロータリアン、奨学生・学友、合わせて約 45 人が参加しました。同学友会の設立をもって国内全地区に米山学友会が網羅されるため、同席した板橋敏雄理事長は「残りものには福がある」と笑いを誘いつつ、「活動内容ではトップになって欲しい」と、期待を込めて祝辞を述べました。

初代会長となった尤銘煌(ユウミンホァン)さん（2003-04／津島ＲＣ）は、「恩返しの気持ちで会長を引き受けました。山形県は、面積は広いけれども学友数がとても少ないのです。日本文化の体験（着付け・茶道など）や、ロータリアンとの交流を積極的に進め、少人数の中で密度を濃くやっていきたい。学友会として何か誇れるもの、続けられるもの、ロータリアンと交流を深めるものを探していきたい」と、抱負を語ってくれました。

11 月に開催予定の学務・学友委員会の正式承認を経て、米山記念奨学会の学友会は、国内に 30（34 地区をカバー）、海外（台湾・韓国・中国）を含めると合計 33 となります。

委員会活動報告――広報委員会

10 月 23 日（金）、「東照庵」にて記者懇談会が開催され、朝日新聞社津島支局の中村尚徳氏、中日新聞社津島通信局の稲垣時太郎氏、西尾張ＣＡＴＶの水谷滋巨氏にご出席いただき、ロータリーへのご理解と今後の広報活動へのご協力をお願いしました。

朝日新聞社の中村氏（左）とＣＡＴＶの水谷氏

（写真提供：伊藤誠広報委員長）

その他

ソングリーダーは山本達彦君です。加藤則之社会奉仕委員長の「530 運動」ご案内も、さすが“先生”の身振り手振りでサマになってます。

←堀田力男親睦委員より出席報告。

司会は、伊藤哲朗会場委員長。→

【本日のメニュー】
カキ＆エビフライ
茶碗蒸し
小鉢、ご飯

「秋海棠」

「秋海棠(しゅうかいどう)は、江戸時代初期に中国から日本に持ち込まれました。「秋海棠西瓜の色に咲きにけり」と芭蕉の句にありますが、花の色はまさにスイカようです。

画・文　服部昭三

次回例会

第 2762 回　'09 年 11 月　13 日（金）

卓話担当：滝川林一

演　　題：「山 etc ...」